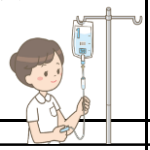
クリニカルパスウェイ
TC療法を受ける患者さんへ （前々日入院）

2016年4月作成
2025年12月改訂
東京慈恵会医科大学西部医療センター

患者番号　@PATIENTID　　患者氏名　@PATIENTNAME

	入院日～前日	化学療法当日	化学療法2日目	化学療法3日目	化学療法4日目
日時	月　　日	月　　日	月　　日	月　　日	月　　日
目標	化学療法について理解し、治療に向けて準備ができる。	安全に抗癌剤投与ができる。	抗癌剤の副作用による苦痛が最小限になり、安楽に過ごせる。	→	→
食事	制限ありません 	治療後食事が食べられない場合はご相談ください。 吐気がある場合は無理をせず食べたい時に食べてください。 病院食以外のものを摂取される場合は看護師にお知らせください。			
活動	制限ありません	→	→	→	→
検査処置	血液検査 身長・体重測定 （体重測定は入院中毎朝お願いします） 必要時24時間の蓄尿の検査を行います。 夕方点滴の針を留置します。	抗癌剤投与の5分後15分後終了時、バイタルサイン測定します。 2つの抗癌剤終了時に体内の水分バランス計算させていただきますので飲水量と体重測定をお願いします。	・朝と午後体重測定	・朝と午後体重測定 ・24時間蓄尿検査 （　　：　　）～	・採血があります。 採血結果により退院が決定します。 ・24時間蓄尿検査提出します。 蓄尿時間の直前に排尿お願いします。
薬	いつも通り内服してください。 	・投与前吐き気止めのベナとイメンドというお薬を内服します。 ・8時頃より点滴を行います。 ・治療薬は2種類あります。 ・初回投与の場合は24時間心電図でモニタリングします。	・イメンド内服します。 ・点滴の本数が500ml3本と100ml1本になります。 （状況に応じて本数は変更します。） 	・イメンド内服します。 この日で終了です。 ・点滴の本数が500ml2本と100ml1本になります。	点滴が500ml1本になります。
清潔	制限ありません	→	→	→	→
指導説明	・治療説明・入院診療計画書作成 ・入院オリエンテーション ・化学療法オリエンテーション 0時より尿量測定開始	□点滴開始直後に熱っぽさ・かゆみ・発疹・息苦しさなどの症状が現れる場合があります。症状が出現した際はすぐにナースコールを押し報告してください。 □化学療法後から数日間吐気・嘔吐・食欲低下が出現することがあります。症状の現れ方は個人差あるため人それぞれですが1週間程度で改善してきます。症状出現時やつらい時はお知らせください。 □だるさがある場合には、無理をせずに休息をとるようにしてください。 □吐き気もなく飲める場合は腎臓の保護のためにも水やお茶をとるようにしてください。目標：1日1500ml～2000ml □抗癌剤投与10日目頃より白血球（好中球）・血小板などを作る働きが低下してきますが、3週間程度で回復してきます。白血球（正常値：4500～8500）が減少すると細菌と闘う力が弱くなり、感染しやすい状態になりやすく、発熱・感冒症状・口内炎・下痢などの症状がおこる可能性があります。うがいや手洗い・マスクの着用をしてください。 □血小板（正常値：150～350）が減少すると、血が止まりにくく打ち身であざになったり、切り傷などで出血した時に血が止まりにくくなります。異常に気付いた時はお知らせください。			